

# 「2022年度 オクターヴ ピアノコンクール＆フェスティバル」募集要項

## 目的

### 【コンクール部門】

- ・演奏水準の向上を図るとともに他出演者の演奏を聞くことにより音楽の幅を広げます。
- ・ステップアップに向けた課題を見つけ出し、今後の音楽学習に役立てます。

### 【フェスティバル部門】

- ・年齢に係わらずピアノ学習の習熟度により参加部門を選択し、ステージ演奏の歓びを得てステップアップへつなげます。
- ・順位は付けずにピアノ学習を楽しみながら上位部門やコンクール出場への足掛かりとし、今後の音楽ライフを豊かにしていきます。

## 応募対象

下記「実施部門」に該当するピアノ学習者

## 開催日

2023年1月8日(日)・9日(月・祝) ※申込人数により1月8日(日)のみの開催となる場合があります。

各部門の実施日、集合時間、開始時間等は申込み締切後に書面および当社ホームページにてお知らせします。

## 実施部門／演奏曲目／規定時間／部門別開催日

<b>【コンクール部門】</b> 小学生～大人 (年齢問わず)	「ソロの部」 A部門 小学1～2年生	課題曲 + 自由曲	3分以内	<b>開催日</b>  1月8日(日) or 1月9日(月・祝)
	B部門 小学3～4年生	課題曲 + 自由曲	4分以内	
	C部門 小学5～6年生	課題曲 + 自由曲	5分以内	
	D部門 中学生	課題曲 + 自由曲	6分以内	
	E部門 高校生以上	自由曲のみ	7分以内	
	「連弾の部」 F部門 小学生～高校生 (組み合わせは自由)	自由曲のみ	4分以内	
<b>【フェスティバル部門】</b> 幼児～大人 (年齢問わず)	「ソロの部」 幼児部門 preschool class	自由曲のみ	2分程度	<b>開催日</b>  1月8日(日) or 1月9日(月・祝)
	初級部門 beginner class	自由曲のみ	3分程度	
	中級部門 middle class	自由曲のみ	4分程度	
	上級部門 upper class	自由曲のみ	5分程度	
	「連弾の部」 連弾部門 duet class (組み合わせは友達、兄弟、親子、夫婦、師弟など自由)	自由曲のみ	4分程度	

## 会場

横須賀市はまゆう会館

## 審査員

西本梨江先生 南部麻里先生 株式会社オクターヴ社長(審査委員長)

## 参加費 (税込)

### 【コンクール部門】

A・B・C部門 11,000円 (連弾部門との併願も可)

D・E部門 12,100円 (連弾部門との併願も可)

F部門 (一組) 16,500円 (ソロ部門との併願も可)

\*全部門参加費の返却は致しません。

### 【フェスティバル部門】

幼児部門 8,800円 (連弾部門との併願も可)

初級部門 9,900円 (連弾部門との併願も可)

中級・上級部門 11,000円 (連弾部門との併願も可)

連弾部門 (一組) 14,300円 (ソロ部門との併願も可)

## 申込方法 問合わせ

この募集要項に添付された「2022年度オクターヴ ピアノコンクール＆フェスティバル 申込書」に必要事項を記入のうえ、参加費を添えてオクターヴ横須賀中央センター音楽教室受付窓口(M1階)にお申し込みください。

お問合わせ： 株式会社オクターヴ「ピアノコンクール事務局」

〒238-0008 横須賀市大滝町2-18 046-826-3832(日～土10:00～19:00)

## 募集期間

2022年10月1日(土)～11月30日(水)

\*募集予定人数を超えた場合、募集期間中であっても申込みを締め切る場合がありますので、あらかじめ

**審査結果**

**【コンクール部門】**

- 表彰式は行わず、結果発表は当社ホームページとポスターで後日公表となります。(1週間程度)
- 受賞者はお名前を当社ホームページ等およびポスターに公表しますので、予めご了承願います。
- 各部門ごとに優秀者を数名選考し、受賞者には賞状・記念品を贈呈します。
- A、B、C、D部門の中から、第8回ヤマハ ジュニアピアノコンクール「二次選考(映像審査)」(有料)の選考会を兼ねて実施いたします。
- 舞台上での審査員講評は行わず、後日出演者全員に書面にてお渡しいたします。

**【フェスティバル部門】**

- 舞台上での審査員講評は行わず、後日出演者全員に書面にてお渡しいたします。

**課題曲**

**【コンクール部門】**

課題曲(任意の1曲を選択)と出典例・譜例	
A部門	A-1. ナンベルの音楽帳 第6番 へ長調／レオポルド・モーツアルト 「ナンベルの音楽帳」(全音)
	A-2. メヌエットト長調 K.1e／モーツアルト 「モーツアルト・ピアノ小品集」(ドレミ楽譜出版)
	A-3. かっこう／プレスラウアー 「ポリフォニーアルバム 1」(ヤマハミュージックメディア)
B部門	B-1. サラバンド ハ短調／フィリップ=フランソワ・ヴェラス 「フランス・バロック舞曲集」(音楽之友社)
	B-2. お気に入り／ヴィットハウアー 「ポリフォニーアルバム 2」(ヤマハミュージックメディア)
	B-3. ソナチネト長調 第2楽章 メヌエット／ブレイエル 「ソナチネアルバム 2」(ヤマハミュージックメディア)
C部門	C-1. フーガ ハ長調／パッヘルベル 「バロックアルバム 1 36の小品集」(音楽之友社)
	C-2. フランス組曲 第6番 ホ長調 BWV 817より ポロネーズ／J.S.バッハ 「バッハ フランス組曲」(各社 原典版推奨)
	C-3. メヌエット ハ長調／ハイドン 「古典期名曲集 上巻」(全音)

D部門	D-1. フランス組曲 第2番 ハ短調 BWV 813より クーラント／J.S.バッハ 「バッハ フランス組曲」(各社 原典版推奨)	
	D-2. ソナタ No.51 Hob.X VI/38 第3楽章／ハイドン 「ハイドン ソナタ集」(各社 原典版推奨)	
	D-3. 11のバガテル op.119-3 ニ長調／ベートーヴェン 「ベートーヴェン バガテル集」(各社 原典版推奨)	
E部門	自由曲のみ	
F部門	(基本的に、クラシック音楽のジャンルに相当すると思われる作品の中から任意の1曲、または組曲より数曲)	

【フェスティバル部門】各部門の学習レベル、参考テキスト(選曲の参考としてください)

	部門	参考テキスト
「ソロの部」	幼児部門 preschool class	オルガン・ピアノの本、ぶらいまりー(ヤマハ)、なかよしピアノ1, 2(PSTA)
	初級部門 beginner class	バーナム導入書1, 2、ピアノスタディ2~4(PSTA)
	中級部門 middle class	ブルグミュラー、ピアノスタディ5, 6(PSTA)
	上級部門 upper class	ソナチネ1, 2以上、ピアノスタディ7以上(PSTA)
「連弾の部」	連弾部門 duet class	クラシックに限らずジャンルは問いません

#### 全部門注意事項

よくお読みください。

#### 演奏上の注意

- 課題曲および自由曲の順に(E部門・F部門、フェスティバル全部門は自由曲のみ)規定時間内に演奏します。
- 演奏はどの部門もすべて暗譜とします。
- 規定時間は、1曲目の弾き始めから、最後の楽曲の弾き終わりまでとします。
- コンクール部門で規定時間を超える演奏は途中で止めさせていただく場合がありますが、審査には影響いたしません。
- 楽譜の出版社は限定いたしません。また、版によって相違があつても、審査には影響いたしません。
- 繰り返しおよび 1. は無し、ダ・カーポ、ダル・セニヨは表記どおり演奏してください。
- 足台と補助ペダルは主催者側で用意します(P.4参照)。持参する補助ツールは、ご自分で着脱してください。
- 主催者側で用意した足台・補助ペダル・椅子の高さ調整は、申込書該当欄に記入のある小学生以下の希望者のみ行います。
- 椅子は、背もたれ付きピアノ椅子です。

#### 参加上の注意

- 各部門の実施日・実施時間は主催者側にて決定し、事前に書面および当社ホームページにてお知らせします。
- 演奏順は、募集締め切り後に主催者側にて無作為抽選により決定し、当日発表します。
- 申し込み後の曲目変更・追加・削除は課題曲および自由曲とも認めません。
- 表彰および講評についての問い合わせには応じられません。
- ロビーのモニターを含め、演奏の録音・録画・写真撮影は固くお断りします。

# 審査員プロフィール

西 本 梨 江 先 生



桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学ピアノ科卒業。同大学研究科修了。ヤマハJOC全国大会にて最優秀賞受賞。自作曲がレコーディングされ話題を呼ぶ。89年全日本学生音楽コンクール全国大会第1位。毎日新聞社賞受賞。サントリーハーモニー交響楽団と共に'10代の音楽家'コンサートに出演。名古屋フィルハーモニー交響楽団と共に演。94年高校生国際芸術コンクールピアノ部門第1位。朝日新聞社賞受賞。国内外での演奏活動の他、イタリア、台湾、韓国、フィリピンなど海外公演にも出演。ヤマハ自動演奏ピアノの録音、CD付曲集の演奏、二胡教本で演奏・編曲を数多く務めている。これまでに7枚のCDをリリース。'ピアノ・アーティスト'として独自の世界を築いている。全日本ピアノ指導者教会(PTNA)正会員。

南 部 麻 里 先 生



桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業。同大学研究科修了。同大学卒業演奏会出演。第10回神奈川音楽コンクールをはじめ様々なコンクールで多数受賞。北島公彦、加藤伸佳、野島稔、三上桂子各氏に師事。2001年よりハンガリーのリスト音楽院に留学。Szokolay Balasz、Zempleni Kornel 各氏のもとで研鑽を重ねる。同音楽院にてソロ室内楽とともに数多くのリサイタルを行う。04年9月に帰国。その後、軽井沢国際音楽祭やPMF Pacific music festival にアーティストとして参加出演。これまでに東京、横浜、大阪にてリサイタルを開催。神奈川フィルハーモニー交響楽団、東京理科大学管弦楽団と共に演。現在、演奏活動とともに桐朋学園大学弦楽器嘱託演奏員、昭和音楽大学伴奏非常勤講師を務める。横浜音楽文化協会会員。

## 主催者側で用意する背付き椅子・補助ペダル・足台、高さ調整について

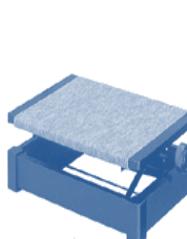
小学生以下の希望者は下記参照の上、申込用紙にご希望の高さをご記入ください。  
持参する補助ツールは、ご自分で着脱してください。

ピアノイス



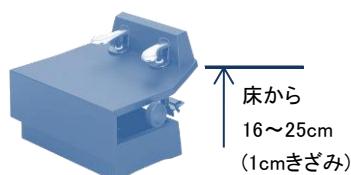
上から 0段目  
1段目  
2段目  
⋮

足台



3段目  
2段目  
1段目  
0段目  
床から 床から 床から 床から  
約21cm 約18cm 約15cm 約12cm

補助ペダル



床から  
16~25cm  
(1cmきざみ)

アシストペダル・アシストスツール  
(主催者側での用意はありません)

